

## ほめること・認め合うこと 菊池省三先生の特別授業より

先週、山梨県も梅雨入りということで、こここのところ、はっきりしない天気が続いています。昨日は女子バスケット部県選手権優勝という素晴らしい知らせが届きました。明日から中巨摩の総合体育大会となります。先週からは部活動強化週間がはじまり、中巨摩総合体育大会へ向けた練習に、全校が一つになって取り組んでいます。3年生にとっては最後の中巨摩総体となります。最後まであきらめずに頑張ってもらいたいと思います。

さて、6月2日(金)に全国的に著名な『菊池省三』先生をお迎えしての校内研究を行いました。ここで改めて菊池省三先生を紹介しましょう。菊池先生は北九州市でいわゆる『学級崩壊』をおこしたクラスをことごとく立て直し、そればかりか見事に子どもたちを成長させ、卒業させていった経歴をお持ちの先生です。その手腕は九州地方のマスコミで話題となり、やがて東京のNHKが『プロフェッショナル仕事の流儀』で取り上げ、全国に情報発信しました。これが大きな転機となり、民放各局にも『たけしのニッポンのミカタ』『世界一受けたい授業』など次々とその実践が取り上げられました。どんどんメジャーになっていき、全国から講演や研究会の講師要請で、ひっぱりだこになりました。やがて菊池先生は土日も有給休暇も使い果たす生活となり、2015年3月に学校を早期退職、現在全国を行脚しながら、自分の考えや思い、スキルなど全国に提唱しています。年200回以上の講演をこなしながら、小学館の雑誌や読売新聞の全国版などにも連載をもっています。著書は多数で現在も次々に出版されています。ものすごい過密スケジュールをこなしている売れっ子先生です。5月31日(水)には、甲斐市教育委員会から依頼を受け、甲斐市教職員全員に向けての特別講演会を本校の体育館で実施していただきました。多くの学びを私たちに提供していただきました。本当に素晴らしい時間となりました。この菊池先生がスケジュールをやりくりして、私たち敷島中学校のために来校してくださいました。



2日の3校時は2年1組で、4校時は3年3組で、そして5校時は1年4組で、菊池先生自ら道徳の授業をしていただきました。本校の教職員だけでなく、敷島中学校区の小学校の先生方にも声をかけ、その示範授業を参観させていただきました。今、全国で“ひっぱりだこ”の菊池先生の授業を、「世界で一番受けたい授業」を受けることのできる幸運!! 3つのクラスの生徒は、菊池先生の温かくほめて認めてくれる言葉がけに、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいました。今回の師範授業や31日の教職員への特別講演会を通して、私たち教職員に、たくさんの素晴らしい学びを提供していただきました。「人に認められることも人を認めることも喜びになる」「いい人間関係があれば自分の考えや価値観を交流できる」そういう学級を、学校をつくっていくことの大切さを改めて学ぶことができました。情報ツールあふれる時代に生きる子どもたちに、自分に自信を持ち、互いに協力しながら「自分らしさ」を大切に、しなやかにたくましく歩いていく力を身に付けさせるためには、具体的にどうしていったらよいかを学ぶ貴重な機会となりました。私たち教職員のこれからの指導や授業へ活かしていきたいと思います。

### <生徒の感想>

☆他人肯定力は、これからもっと大切にしていきたい。相手を褒めることで、いろいろな人と交流することもできると思った。相手を大事にしたり、その人のプラス面を探したりするのが大事だと感じた。その大事なことをやっていると、いい空気。雰囲気につながる!!そして、本当に「チャレンジ」「あきらめない」「やってみなきゃわからない」この言葉を実行していこうと思った。ひとりひとり違っていいのだから、「自分」を大切に、人と違ってあたりまえなんだから、自分らしさを出して進んで行こうと思った。(1年4組 仲田愛美さん)

### <生徒の感想>

☆今回の授業は、とても楽しくフリートークで大切なことを学ぶ貴重な時間でした。普段、フリートークをしている時には気づかなかったことや大切なことを知る機会となりました。私は話すのは好きだけど、自分から話すことは苦手なので、今回の授業を受けて学んだことを生かしていきたいです。そして、一人一人の意見を大切に、相手を思いやり、みんなが笑顔で過ごせるような温かいクラスを築いていきたいと思えます。(2年1組 浅川菜央さん)

☆菊池先生の授業を受けて「一人一人ちがっていい」「予想」この2つが大切だと思いました。先生のもってきてくれた話は少し悲しく、そんなことがあったという驚きを感じました。私たちがその成人式にいなくても男性の気持ち、女の子の気持ちを考えることができます。また今日の道徳で、私は大人ではなく「大人(たいじん)」になれるように、相手の気持ちを考え、自分の意見(思っていること)を大切に、これからを過ごしていきたいです。また菊池先生の授業を受けて大切なことを学びたいです。(3年3組 福田蒼来さん)



## 「生徒総会ってすごい」その意味は・・・

6月1日(木)の生徒総会から～生徒会執行部が考えた原案は、今年一年を貫く目標として十分なものでした。生徒会本部のメンバーがよく考えた原案は、今年一年を貫く目標としてとても素晴らしいものです。生徒会活動のスローガンの設定理由に個人や集団としての成長を目指すと書かれています。

成長していくために必要なこととして、①振り返りをする②理想や目的を再認識する③他人の指摘を受け入れることがあげられます。この3つを意識して一日一日を繰り返したら成長は必ず実感できると思います。また、3つの活動の柱にもそれぞれ重要な意味があると思います。①「日常生活」には、「気づき」と「声かけ」が必要です。②「つながり」のなかの、認め合うことは「人間関係づくり」の基礎となるものだと思います。③「伝統の発展」には、一人一人の「意識」が必要です。

生徒総会の中で、本部から柱3<伝統の発展>に出てきた「あいさつ」を活発にするにはどうしたらよいかという投げかけがありました。本部が全校での話し合いを求め、それに対して全校生徒が各班でその場で、どのようにしていったらいいかを話し合い、意見の交流をしました。それぞれの班で話し合う姿を見ていると、一人も無関心な姿がなかったことは本当に素晴らしいと感じました。また、今回の生徒総会で、終始、全校生徒全員が素晴らしい態度で話を聞いている姿に敷島中学校の「すごさ」を感じました。

生徒総会のはじまる前に全校生徒に私が伝えたことは、「意見」には必ず「理由」が必要であることを伝えました。「説得力ある意見を述べる力」は社会に出ても通用する力となります。そのためには、「話し合いの経験を積む」ことが大切です。生徒総会でしっかりと発言できなかった人もいます、でもその経験は必ず生きてきます。努力した自分をたたえて、くじけず生かしてほしいと思います。発言しなかったが真剣に参加していた人、次は学級のなかでもいから発言しましょう。人ごとだった敷中生はいないと思います。話し合いの力は、一生ものの「生きる力」になります。是非とも自分自身の未来を切り開いていくためにも全員につけていってほしいと思います。

